

会議議事録（要旨）

会議の名称	第5回 さぬき市健康増進計画・食育推進計画・自殺対策計画策定委員会
開催日時	2025（令和7）年2月27日（木）14時00分～14時35分
開催場所	さぬき市役所寒川庁舎 301・302会議室
出席者氏名	溝渕委員、服部委員、井上委員、富田委員、吉田委員、田村委員、宇山委員、平野委員、芳我委員、木下委員、千田委員、大西委員、多田委員、中川委員
欠席者氏名	三好委員
事務局	健康福祉部国保・健康課課長 ほか4名、 委託業者：2名
傍聴者	0名
会議次第	1 開会 2 委員長あいさつ 3 議題 （1）パブリックコメントの結果について （2）さぬき・すこやかプラン21（第3次）（案）について （3）その他 4 閉会
配付資料	さぬき・すこやかプラン21（第3次） 案 （1）パブリックコメント結果について等 次第、委員名簿、席次表

議事内容（要旨）	
事務局	<開会> 14 時 00 分 ただ今から、第 5 回さぬき市健康増進計画等策定委員会を開会いたします。皆様方には、大変ご多忙のところ、ご出席を賜りありがとうございます。まずは、芳我委員長さまからごあいさつを賜りたいと思います。
委員長	挨拶
事務局	ありがとうございました。 本日、三好委員につきましては、欠席の連絡をいただいております。 それでは、本日の会議は「さぬき市健康増進計画等策定委員会設置要綱第 5 条第 2 項」によりまして、委員の半数以上の出席によって会議を開くことができますことをご報告させていただきます。 委員の皆様方には、先に第 5 回さぬき市健康増進計画等策定委員会資料としまして「さぬき・すこやかプラン 21（第 3 次）案」をお送りしておりますが、お持ちでない方がいらっしゃいましたらお知らせください。資料をお渡しいたします。では、ここからは、芳我委員長様議事の進行をよろしくお願いいたします。
委員長	議題に入ります前に、会議の公開について、前回の策定委員会でご承認いただいたとおり公開となっております。傍聴者の方がおられましたら入室していただいでください。今回は傍聴される方はいらっしゃいません。 それでは議題に入らせていただきます。 事務局より（１）パブリックコメントの結果についてについて、説明願います。
事務局	パブリックコメントの結果について、ご報告します。 パブリックコメントについては、第 4 回さぬき市健康増進計画等策定委員会で説明したとおり、令和 6 年 12 月 20 日金曜日から令和 7 年 1 月 24 日までさぬき市ホームページで公開するとともに、さぬき市本庁生活環境課及び寒川庁舎国保・健康課にて閲覧を実施したところ、意見提出はありませんでした。
委員長	意見がないというのは、賛同いただけたということと理解いたしましょう。委員の皆様から何か意見や質問があれば、伺いたい。 なければ、議題（２）さぬき・すこやかプラン 21（第 3 次）（案）について、説明願いたい。
事務局 （委託業者）	資料の（２）をご覧ください。文言の修正の表がありますが、ご確認、ご承認の後、軽微な修正をしたものです。 まず 1 ページの脚注※ 2 です。修正前が「2024（令和 4）」となっていましたが「2022（令和 4）」が正しい数字です。10 ページはこの会議の名称で「等」が抜けていました。「さぬき市健康増進計画等策定員会」と「等」を追記しました。 32 ページは、「糖尿病腎症重症化予防」と記載していましたが「性」が抜けていたので「糖尿病性腎症重症化予防」と修正しました。34 ページは「ソーシャルスクールワーカー」と記載していましたが、正しくは「スクールソーシャルワーカー」なので、修正しました。37、38 ページについては「けんぽ協会」「協会けんぽ」という表記になっていましたが、正式名称として「全国健康保険協会（協会けんぽ）」という表記にしました。77 ページに小児生活習慣病予防についての文章がありますが「小児生活習慣病予防健診を実施するとともに、養護教諭をはじめ、学校医・

議事内容（要旨）	
事務局 （続き）	保健師・栄養教諭と連携した保健指導に取り組みます。」という表現に変更しています。92 ページ「パートナーシップ制度」の「 」を除いています。 以上軽微な修正ですが、ご報告します。 追加として、市長挨拶、124 ページから資料編を加えています。
委員長	意見や質問があれば伺いたい。委員の名前も入っているので、間違いがないか確認してもらいたい。
委員	10 ページの策定委員会の名称が変更されていないようだ。
事務局	送付した後に修正箇所を見つけたため、大変申し訳なく思います。各委員で追加をお願いしたいと思います。最終的なものは修正し、策定したいと思います。
委員長	修正前のものを送付したということだったため、先に述べた修正点はすべて事務局の方で責任をもって修正いただけるという理解でよいと思う。修正の方、よろしくをお願いしたい。 ほかにあれば伺いたい。 三好委員からファックスで意見があったので、事務局から紹介してもらいたい。
事務局	三好委員の意見を読み上げたいと思います。 分野1、分野6で、やせに対する取組が追加されています。生活習慣病対策として、肥満だけでなくやせも重要です。やせに対する誤ったイメージの啓発も含め、ぜひ取組を進めてもらいたいと思います。 筋・骨格のレシピ件数が増加している一方で、フレイルなどの認知度は十分ではありません。高齢者へのフレイル対策と同時に、骨密度の獲得など、ライフコースを通しての運動器の健康づくりを進めてもらえたらと思います。 世帯人員は、年々減少しています。孤立は、孤独など心身の健康状態を悪化させ、自殺の大きなリスク因子となります。孤独、孤立対策の視点も含めて、自殺対策を進めてもらいたいと思います。 以上、3点ご意見をいただきました。 これらに関しては、計画策定後の推進の立場でのご意見と判断し、計画案の修正はないものと考えています。
委員長	表記よりも内容の話で、ごもっともな意見だと思った。やせに関することを小児期からやっていくという意味では、さぬき市の子どもたちに対しての施策の中に盛り込んでいけたらと思う。 フレイルは高齢者の話になっているが、骨の作りは子どもの頃からということなので、フレイル予防と言わないまでも、筋・骨格をしっかり作る体づくりの時期ということを伝えて、食育の中にも具体的な施策に反映できるようなことができたらと思うがどうか。
委員	高齢者が多いので、メタボからフレイル予防にということで、1年間講習をした。 また、子どもからということで小学校に行き、魚1匹丸ごとを調理し、箸の持ち方等を話した。子どもたちはフレイルという言葉は分からない。バランスの良い食事をしましょうと説明した。

議事内容（要旨）	
委員長	意識的に関わっている様子なので、今後も指導してもらいたいと思う。 ほかに子どものことで気になっていることがあれば、意見を伺いたい。
委員	気になっていることは、あまりない。 子育てサロンでは毎月親子体操をしている。出席する母子は一緒に体を動かしているが、出てこない人はどうしているか分からない。
委員長	健康日本21（第三次）では、一人も取り残さないということがキャッチフレーズに入ったので、支援の届かないことがないよう意識しておく必要があると指摘してもらったように思う。 子どもの体格がやせと肥満とあり、適切な体格を維持することが難しくなっているのかなと感じているがどうか。
委員	子どもの場合、体重が多いことに目が行くが、体重そのままでも身長が伸びていけば解消される。運動で思いのほか良くなるというのはある。一方で、毎年なかなか変わらない人もいる。学校保健会議等の活動でよくなる、学校のスポーツクラブで運動するのもある。
委員長	体格変動が著しい時期でもあるので、適正な体格にしていくためには運動や食事をメインにアプローチができると思う。このプランともつながり、実現できるとよい。 口腔フレイルも言われるようになったが、どうか。
委員	前にも話したが、口腔の機能が低下すると、咀嚼ができなくなり、体力が落ちる、健康面にも影響が出てくる。歯が抜けてそのままになっていると、転倒の原因にもなりやすく、認知症にもなりやすいと、よいことは何もない。口の中を健康な状態に保つことが、体の健康につながるということを歯科医師会も言っているが、最近ではテレビでも取り上げてくれているので、そういうことを口にする患者もいる。少しずつは浸透してきていると思っている。
委員長	一昔前は、歯科の受診で保険点数が高かったが、全国的にも健診へ移行が進んでいるのかなと感じる。さぬき市の計画にも歯科に関することがトピックとして明記されている。今後も継続して進めてもらいたい。 学校の立場からも話をしてもらいたい。
委員	食事について、子どもたちは給食でそれなりのバランスを取っているが、母子、父子家庭も増えている。そして、朝食を食べていない割合は、年齢が上がると増えている。正直なところ、子育てを誰がしているのか不安を感じる。保護者が忙しい家庭で、食事は給食、帰宅したら菓子パン、朝は食べない子が増えている。そういう子は、学力がそんなに高くなく、生活面の乱れも出ている。男女共同参画に異論は言わないし、今は男女共に納税してもらわないといけなくて、働くことに賛成だが、将来の納税者として社会を背負っていく子どもを誰が育てているのか、社会に放り投げてしまっているという不安を感じる。 運動について、中学校では部活動の地域移行が進んでいるが、運動のベースとなっているのは部活動だ。部活動だから入っている人もいるし、先生が関わることで運動に関わり、体力が上がっている。しかし中学校は、働き方改革で部活動を手放さ

議事内容（要旨）	
委員 （続き）	ざるを得ない、地域に戻すことで、特別な運動になる。裕福な家庭は高額なお金を払い、さらに特別な指導ができるスポーツ団体に入って、運動能力を高めればよいが、問題は取り残されてしまう子どもたちをどうするのか。やがてその子たちがひきこもりになったり、運動しなくなったり、家庭でスマートフォンに頼ったりする。保護者の意識も子育てを一番に思ってもらい、食事、運動をしてもらいたいと思う反面、学校での保護者の様子や話からは辛さを感じる。社会の構造が変わり、学校の立場も変わる。子どもたちは一生懸命やっている反面、大丈夫なのか、将来社会を任せられる子どもたちができているのか、不安がある。難しいなと思う。働くのは父親でも母親でもよいと思うが、理想は、子どもが帰るとどちらかが家にいる、ほっとできる、ごはんを作ってくれる、目をかけてくれる家庭づくりに、国がもう少し力を入れてくれると有り難いと思う。
委員長	教育の立場から、気になる子どもの様子を話してくれた。格差が広がっていることはずっと指摘されているが「こどもまんなか」といいながら、いまだ効果的な対策というものが確定できているわけではない。実際の現場で活用できる案をまだまだ出さないといけない気がしている。 P T Aの成り立ちも大変だと聞いているが、保護者の立場としてどうか。
委員	P T Aではなく、自分の子どもたちの話をしたい。 28 歳の子は結婚している。以前も話したが、22 歳の子は大学生で一人暮らしをしており、1 日 1 食だ。正月に聞いたときは、180 センチメートルで 58 キログラム、がりがりだった。 その下に高校 2 年生女の子と中学 3 年生の男の子がいる。中学 3 年生は去年の夏まで部活動をし、受験のためにやめて、部活動なしの生活を半年ほどしていた。小学生のときはぼっちゃりしていたが、部活動で少しやせた。しかし、部活をやめてからまた太りだしたため、食事はとるが、腹 5 分目か 6 分目で止める。高校 2 年生は春休みなので、飲食店でアルバイトをしており、そこで賄いが出ている。その食事がスパゲッティ系だから、カロリーを取っているということで、夕食を食べてくれない。食べても、せいぜいサラダだ。どの子も太りたくないというのが根本にあるようで、せっかく作っても「いらない」と言われる。母親からすると残念で寂しい気がする。
委員長	切ない思いが伝わって来た。 男性もそうだが、健康状態のためよりも、見た目のためにやせようという若い人が増えていると感じる。骨格系をしっかりさせる時期であるはずなのに、やせようとすることで、フレイルの予備軍ができてしまうというジレンマにもなると思うので、子どもたちのボディイメージを適正にしていくということも、一方で必要だということを伝えてくれたように思う。 ほかになれば、議題（3）その他について、事務局から何かあるか。
事務局	議題（3）その他としまして、今後のスケジュールについて、お伝えしたいと思います。 今回の策定委員会では、さぬき・すこやかプラン 21（第 3 次）（案）に修正はございませんでしたので、この計画（案）をもって、さぬき市健康増進計画・食育推

議事内容（要旨）	
事務局 （続き）	進計画及び自殺対策計画である「さぬき・すこやかプラン 21（第 3 次）」とし、令和 7 年度からの、さぬき市民の健康づくりの行動計画としたいと思います。 つきましては、「さぬき・すこやかプラン 21（第 3 次）」について、さぬき市ホームページでの公開及びさぬき市広報紙への掲載を予定しております。 また、この「さぬき・すこやかプラン 21（第 3 次）」は令和 7 年度から令和 18 年度までの 12 年の計画としておりますので、中間年度に当たる令和 12 年度に、中間評価を、令和 17 年度、18 年度には、総合評価及び見直しを行い、次期計画につなぐこととしています。
委員長	修正は軽微な表記だったので、事務局に一任し承認することでよい。また、4 月に入れば、市のホームページに公開されるということだった。委員には 4 月を目途に見てもらいたいと思う。 何か質問や意見があれば伺いたい。なければ、これで終了する。
事務局	長期間にわたり、真摯なご意見を賜りまして誠にありがとうございました。健康づくりの推進のため、今後ともよろしくご協力をお願いいたします。 <閉会> 14 時 35 分

以上